

指導計画・評価資料

4年

1. 春の生き物

【単元の目標】 動物を探したり植物を育てたりしながら，動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して，それらを関係づけて，身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して，それらについての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
※各観点の評価は，「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。		
次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	春の生き物 身の回りの生き物のようすは，1年間でどのように変わっていくのだろうか。	思①／春の生き物のようすについて，予想や仮説を発想し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	生き物のようす 校庭などの生き物はどんなようすだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	知③／温度計を安全に正しく使い，気温や水温を調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
第2次	植物を育てよう 植物は，季節とともにどのように成長していくのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	態①／植物の成長に進んでかかわり，他者とかかわりながら，植物を育てていこうとしているかを評価する。（行動観察）
		知③／植物の成長のようすを調べ，結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
第3次～ つなげよう	春の記録をまとめよう 活動 観察した記録カードを整理して伝え合おう つなげよう（日本各地の4月初め）	知③／春の生き物のようすを理解し，観察記録を整理し，わかりやすくまとめているかを評価する。（記録分析・ペーパーテスト）
		態②／春の生き物について，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）

2. 天気と1日の気温

【単元の目標】 天気と気温の変化に着目して，それらを関係づけて，1日の気温の変化を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	天気と1日の気温 天気と1日の気温にはどのような関係があるのだろうか。	思①／1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を発想し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	1日の気温の変化 晴れの日と，曇りや雨の日では，1日の気温の変化はどのように違うのだろうか。 観察1 1日の気温の変化	思②／1日の気温の変化のしかたについて，観察の結果から考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知②／温度計を正しく扱いながら，天気や1日の気温の変化のしかたを調べ，測定した気温などの結果をわかりやすくまとめているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		知①／天気によって，1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態①／天気の様子や1日の気温の変化に進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（発言・行動観察）
まとめ～ つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（あまいくだものや野菜）	態②／天気と1日の気温の変化について，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

地面を流れる水のゆくえ

【単元の目標】 水の流れ方や浸みこみ方に着目して，それらと地面の傾きや土の粒の大きさを関係づけて，雨水のゆくえと地面のようすを調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，観察，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
--	--	--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	地面を流れる水のゆくえ 水の流れと地面の傾きには，どんな関係があるのだろうか。 観察1 水の流れと地面のかたむき	思①／地面を流れる水のゆくえについて，差異点や共通点をもとに，問題を見いだすことができているかを確認する。（行動観察・発言）
		態①／地面を流れる水のゆくえに進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）
	土の種類と水の浸みこみ方には，どんな関係があるのだろうか。 実験1 土のつぶの大きさと水のしみこみ方	知①／水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解しているかを評価する。（行動観察・記述分析）
		思①／低い場所に流れた水のゆくえについて，土のようすと関連づけながら，根拠のある予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知③／粒の大きさと水の浸みこみ方の違いを調べる実験を，条件制御しながら行い，結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
第2次	地面や水とわたしたちのくらし 地面や水は，わたしたちのくらしとどんな関係があるのだろうか。	知②／水の浸みこみ方は，土の粒の大きさによって違いがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／水が地面を流れたり，浸みこんだりするしくみと自然災害や土地利用との関係について調べようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

3. 電気のはたらき

【単元の目標】 電流の大きさや向き，乾電池につないだもののようすに着目して，それらを関係づけて，電流のはたらきを調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	電気のはたらき 乾電池でモーターを回して，モーターの回り方を調べよう。	思①／乾電池とモーターを使ったおもちゃについて，既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	かん電池のはたらき 乾電池をつなぐ向きと，モーターの回る向きには，どんな関係があるのだろうか。 実験1　かん電池とモーターの回る向き	思①／回路を流れる電流の向きとモーターの回る向きについて予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知②／簡易検流計を正しく使い，回路を流れる電流の向きと，モーターの回る向きを関係づけて調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）
	モーターをもっと速く回すには，どうすればよいのだろうか。 実験2　かん電池とモーターの回る速さ	思②／乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方について，実験の結果から考察し，表現しているかを評価する。（行動観察・記述分析）
		態①／乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方に進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（発言・行動観察）
	直列つなぎのほうが，モーターが速く回るのは，どうしてだろうか。 実験3　かん電池と電流の大きさ	知①／乾電池の数やつなぎ方を変えると，電流の大きさや向きが変わり，モーターの回り方が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（発光ダイオード(LED)）	態②／電気のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）

夏の生き物

【単元の目標】 動物を探したり植物を育てたりしながら，動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して，それらを関係づけて，身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して，それらについての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

※各観点の評価は，「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	生き物のようす 春と比べて，生き物のようすは，どのようになっているのだろうか。 観察1　季節と生き物のようす	思①／夏の生き物について，既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		態①／夏の生き物に進んでかかわり，他者とかかわりながら，春の生き物のようすとの違いを調べようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）
第2次	植物を育てよう 春にたねをまいた植物は，夏になりどのように成長しているのだろうか。 観察2　季節と植物の成長	知③／植物の成長のようすを調べ，結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
第3次～つなげよう	夏の記録をまとめよう 活動　観察した記録を整理して伝え合おう つなげよう（日本各地の夏）	知①②／夏になると，動物が活発に活動し，植物がよく成長することを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／夏の生き物について，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）

夏の夜空

【単元の目標】 星の明るさや色に着目して，星の特徴を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

※各観点の評価は，「夏の夜空」「4．月や星の動き」「冬の夜空」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（Ｂ基準）と評価手法
第１次	夏の夜空 夜空に輝く星には，どんな違いがあるのだろうか。 観察1 夏の星	態①／夏の夜空に輝く星に進んでかかわり，他者とかかわりながら，観察しようとしているかを確認する。（発言・記述分析）
		知②④／方位磁針や星座早見などを正しく使って，星や星座を観察し，星によって明るさや色に違いがあることを理解しているかを評価する。（行動観察・記録分析・記述分析・ペーパーテスト）

4．月や星の動き

【単元の目標】 月や星の位置の変化や時間の経過に着目して，それらと関係づけて，月や星の特徴を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

※各観点の評価は，「夏の夜空」「4．月や星の動き」「冬の夜空」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（Ｂ基準）と評価手法
単元導入	月や星の動き 月や星は，どのように動いているのだろうか。	思①／月の動きについて問題を見いだし，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第１次	月の動き 月も，太陽と同じように，時刻とともに動いていくのだろうか。 観察1 半月と満月の動き	思①／月も太陽と同じように，時刻とともに動くと予想や仮説を発想し，考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①④／方位磁針を正しく使って月の位置を調べ，月は日によって形が変わって見え，1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解しているかを評価する。（記録分析・記述分析・ペーパーテスト）
		態①／月の動き方について進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）
第２次	星の動き 星も，時刻とともに動いていくのだろうか。 観察2 星の位置やならび方	知③／星の集まりは，1日のうちでも時刻によって，並び方は変わらないが，位置が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		思②／星の位置の変化を観察の結果から考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（流れ星の正体）	態②／月や星の動きについて，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・記述分析）

5．とじこめた空気や水

【単元の目標】 体積や押し返す力の変化に着目して，それらと押す力とを関係づけて，空気と水の性質を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

次	指導計画	評価規準（Ｂ基準）と評価手法
単元導入	とじこめた空気や水 閉じ込めた空気にはどんな性質があるのだろうか。	思①／閉じ込めた空気の性質について問題を見いだし，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		態①／閉じ込めた空気を使った活動に進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察）
第１次	とじこめた空気のせいしつ 活動 空気でっぼうで玉を飛ばしてみよう 閉じ込めた空気を押したとき，空気はどのようなになっているのだろうか。 実験1 とじこめた空気をおしたとき	思①／閉じ込めた空気を押したときについて，予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知③／空気を閉じ込めた器具を安全に正しく使って，閉じ込めた空気の性質を調べているかを評価する。（発言・行動観察）
		知①／閉じ込めた空気を押すと，体積は小さくなるが，押し返す力は大きくなることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第２次	とじこめた水のせいしつ 水も，空気と同じように，押し縮めることができるのだろうか。 実験2 とじこめた水をおしたとき	知③／閉じ込めた水を押したときについて，結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		思②／閉じ込めた水を押し縮めることができるかについて，実験の結果から考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知②／閉じ込めた水は，空気と違って押し縮められないことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（東京ドームの屋根）	態②／閉じ込めた空気や水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）

6. ヒトの体のつくりと運動

【単元の目標】 骨や筋肉のつくりとはたらきに着目して、それらに関係づけて、ヒトやほかの動物の体のつくりと運動とのかかわりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、資料調べなどに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
---	--	--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	ヒトの体のつくりと運動 ヒトや動物の体は、どんなつくりをしていて、どんなしくみで動いているのだろうか。	思①／運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようなになっているか予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
第1次	体を曲げられるところ 体の中で曲げられるところは、どこにあるのだろうか。 観察1 体を曲げられるところ	知③／自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		態①／体を曲げられるところに進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）
第2次	体の動くしくみ ヒトは、どのように体を動かしているのだろうか。 観察2 体の動くしくみ	知①②／ヒトの体には骨と筋肉があり、ヒトが体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第3次	動物の体のつくりとしくみ ほかの動物も、ヒトと同じしくみで、体を動かしているのだろうか。 資料調べ1 動物の体のつくりとしくみ	知③／ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、資料を活用して調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、ヒトと関係づけて考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（いろいろな動物のほね）	態②／ヒトやほかの動物の体のつくりと運動について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）

秋の生き物

【単元の目標】 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して、それらに関係づけて、身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
--	--	--

※各観点の評価は、「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	生き物のようす 春や夏と比べて、生き物のようすは、どのようなになっているのだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	思①／秋の生き物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		態①／秋の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）
第2次	植物を育てよう 春にたねをまいた植物は、秋になりどのように成長しているのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	知③／植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
第3次～つなげよう	秋の記録をまとめよう 活動 観察した記録を整理して伝え合おう つなげよう（日本各地の秋）	知①②／秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まったり、実が大きくなったりすることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／秋の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）

7. ものの温度と体積

【単元の目標】 空気・水・金属をあたためたり，冷やしたりしたときの体積の変化に着目して，それらと温度の変化とを関係づけて，空気・水・金属の温度変化に伴う体積の変化を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	ものの温度と体積 閉じ込めた空気をあたためると，どうなるのだろうか。	思①／閉じ込めた空気をあたためたときについて問題を見いだし，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	空気の温度と体積 空気は温度によって，体積が変わるのだろうか。 実験1 温度による空気の体積の変化	思①／閉じ込めた空気をあたためたときについて，予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		思②／空気の温度と体積について，実験の結果から考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①／空気はあたためたり冷やしたりすると，その体積が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態①／温度による空気の体積の変化に進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）
第2次	水の温度と体積 水も空気のように，温度によって体積が変わるのだろうか。 実験2 温度による水の体積の変化	思②／温度による水の体積変化について，実験の結果から考察し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知①／水はあたためたり冷やしたりすると，その体積が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
第3次	金ぞくの温度と体積 金属も，温度によって体積が変わるのだろうか。 実験3 温度による金ぞくの体積の変化	知②／加熱器具などを安全に正しく使って，金属をあたためたり冷やしたりしたときの体積の変化を調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／温度による金属の体積変化について，実験の結果から考察し，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知①／金属は，あたためたり冷やしたりすると，その体積が変わるが，その変化は空気や水より小さいことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（火災報知器のしくみ）	態②／温度によるものの体積変化について，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）

冬の夜空

【単元の目標】 星の位置の変化や時間の経過に着目して，それらを関係づけて，星の特徴を調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，観察に関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

※各観点の評価は，「夏の夜空」「4. 月や星の動き」「冬の夜空」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	冬の夜空 冬の星も，明るさや色に違いがあり，時刻とともに，動いていくのだろうか。 観察1 冬の星	態①／冬の夜空に輝く星に進んでかかわり，他者とかかわりながら，観察しようとしているかを確認する。（発言・記述分析）
		知②／冬の夜空にも，明るさや色の違う星があり，時刻によって，並び方は変わらないが，位置が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）

冬の生き物

【単元の目標】 動物を探したり植物を育てたりしながら，動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して，それらを関係づけて，身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して，それらについての理解をはかり，観察などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。
--

※各観点の評価は，「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	生き物のようす これまでと比べて，生き物のようすは，どのようになっているのだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	思①／冬の生き物について，既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		態①／冬の生き物に進んでかかわり，他者とかかわりながら，季節による違いを調べようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）
第2次	植物を育てよう 春にたねをまいた植物は，冬になりどのように変わってきているのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	知③／植物のようすを調べ，結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
第3次～つなげよう	冬の記録をまとめよう 活動 観察した記録を整理して伝えよう つなげよう（日本各地の冬）	知①②／冬になると，動物は見られなくなり，植物はたねを残して枯れたり，枝に芽をつけて冬を越したりすることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／冬の生き物について，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）

8. もののあたたまり方

【単元の目標】 金属・水・空気を熱したときの熱の伝わり方に着目して、それらと温度の変化とを関係づけて、金属・水・空気のあたたまり方を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
--	--	--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	もののあたたまり方 ものは、どのようにあたたまっていくのだろうか。	思①／金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
第1次	金ぞくのあたたまり方 金属はどのようにあたたまっていくのだろうか。 実験1 金ぞくのあたたまり方	知②／加熱器具などを安全に正しく使って、金属のあたたまり方を調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		知①／金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態①／金属のあたたまり方に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）
第2次	水のあたたまり方 水は、どのようにあたたまっていくのだろうか。 実験2 試験管の中の水のあたたまり方	知②／水のあたたまり方を調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		思②／水のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①／水はあたためられた部分が移動して全体があたたまることを理解しているかを評価する。（発言・記述分析・ペーパー分析）
第3次	空気のあたたまり方 空気は、どのようにあたたまっていくのだろうか。 実験4 空気のあたたまり方	思②／空気のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
		知①／空気は、あたためられた部分が移動して、全体があたたまることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（あたためられた空気で大空へ）	態②／もののあたたまり方について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）

9. 水のすがた

【単元の目標】 水の状態に着目して、温度の変化と関係づけて、水の状態の変化を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
--	--	--

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	水のすがた 温度によって水はどのように姿を変えるのだろうか。	思①／水が氷になったり、水を熱すると湯気や泡が出たりする現象について予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
第1次	水を熱したときの変化 水を熱し続けると、どうなるのだろうか。 実験1 水を熱したときの変化	知②／加熱器具などを安全に正しく使って、熱したときの水の様子を調べ、わかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		思②／水を熱したときに出る泡の正体について、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		態①／水を熱したときに出る泡に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）
第2次	水を冷やしたときの変化 水を冷やし続けると、どうなるのだろうか。 実験3 水を冷やしたときの変化	知②／水を冷やし続けたときの温度やようすをわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		思②／水を冷やしたときの変化について実験の結果から考察し、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第3次	水の3つのすがた 水は温度によってどのように姿を変えただろうか。	知①／水が温度によって水蒸気や氷に変わることや、水が氷になると体積が増えることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（じょう気機関車，流氷）	態②／温度による水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言）

10. 水のゆくえ

【単元の目標】 水のゆくえに着目して，それらと水の状態変化とを関係づけて，自然界の水のようすを調べる活動を通して，それらについての理解をはかり，実験などに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。		
次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
単元導入	水のゆくえ 消えた水たまりの水は，どこにいったのだろうか。	思①／水たまりの水のゆくえについて問題を見だし，表現しているかを確認する。（発言・記述分析）
第1次	消えた水のゆくえ 水は沸騰しなくても，蒸発していくのだろうか。 実験1 空気中に出ていく水	思①／水は熱しなくても，蒸発するかについて予想や仮説を発想し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知②／水の自然蒸発のようすを調べ，結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）
		知①／水は，水面や地面などから蒸発し，水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態①／空気中に出ていく水に進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）
第2次	空気中の水 空気中から水を取り出すことができるのだろうか。 実験2 空気中にある水	思②／空気中から水を取り出せるかについて，実験の結果から考察し，表現しているかを評価する。（発言・記述分析）
		知①／空気中の水蒸気は，結露して再び水になって現れることがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）
まとめ～つなげよう	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（きりにうかぶ城，自然の中をめぐる水）	態②／水のゆくえについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言）

生き物の1年間

【単元の目標】 1年間調べてきた生物のようすを振り返りながら，動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して，それらを関係づけて，身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して，それらについての理解をはかり，資料調べなどに関する技能を身につけるとともに，おもに既習の内容や生活経験をもとに，根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	
--	--

※各観点の評価は，「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	指導計画	評価規準（B基準）と評価手法
第1次	生き物の1年間 生き物は，1年間どのようにくらしてきたのだろうか。 資料調べ1 生き物の1年間のようす	態①／季節と生き物のようすに進んでかかわり，他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）
		知③／1年間の観察記録を生き物ごとに整理し，季節と生き物のようすの関係について，わかりやすくまとめているかを評価する。（行動観察・記録分析）
		知①②／動物の活動や植物の成長は，あたたかい季節，寒い季節などによって違いがあることを理解しているかを確認する。（記述分析・ペーパーテスト）
		態②／季節と生き物のようすについて，学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）